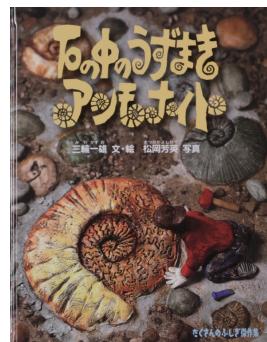

古代の生き物・進化



とりになったきょうりゅうのはなし
(かがくのとも絵本)
大島英太郎／作

福音館書店 2010年 900円

羽毛を持った小さな恐竜の化石が発掘されました。大きな恐竜の仲間がほとんど死に絶えた後も、翼を持ち、飛ぶことのできる小さな恐竜の子孫だけは、生き残りました。それが鳥です。恐竜は今でも姿を変えて生きているのです。



石の中のうずまき アンモナイト
(たくさんふしき傑作集)

三輪一雄／文・絵
松岡芳英／写真
福音館書店 2010年 1300円

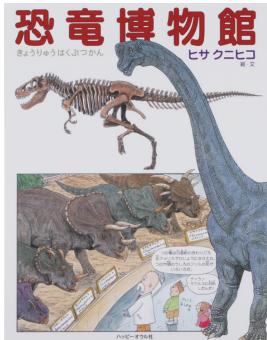
太古に海の底だった日本は、さまざまな種類のアンモナイトの化石の宝庫です。著者が川原で探し、採取した物や、これまで発見されたたくさんのアンモナイトの写真が楽しめます。化石探しにいきたくなる絵本です。



せいめいのれきし
バージニア・リー・バートン／文・絵
いしいももこ／訳

岩波書店 1964年 1600円

「地球上にせいめいがうまれたときから今までのおはなし」、私たち人類の時代になるまでの生命の進化の歴史を、ページをめくりながらたどります。バートンのユニークな挿絵と凝縮された文章から、長い長い時間の流れと変化が伝わってきます。

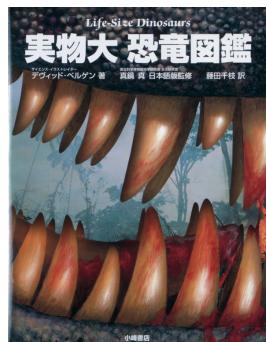


恐竜博物館 (しそんのほん)

ヒサクニヒコ／絵・文

ハッピーオウル社 2004年 1580円

恐竜博士の案内で、兄妹が恐竜博物館の中を時代を追つて見学していきます。恐竜時代のさまざまな生き物や自然にふれ、生命や地球の歴史を漫画で学べる恐竜図鑑です。



実物大 恐竜図鑑

デヴィッド・ベルゲン／著

藤田千枝／訳

真鍋真／日本語版監修

小峰書店 2006年 1800円

表紙を飾るティラノザウルスの口の大きさに目を奪われます。恐竜時代の生き物が、実物大のイラストで紹介されています。鋭い歯だけ、かぎ爪だけの実物サイズから、全体像を想像するのも楽しい、迫力満点の本です。



恐竜研究所へようこそ

林原自然科学博物館／著

童心社 2007年 2500円

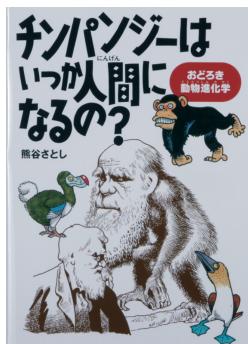
恐竜に関わる仕事の内容が、具体的にわかる本です。発掘調査隊の服装や携行品、ゴビ砂漠の発掘現場での作業内容や道具、化石の輸送方法、クリーニング作業、レプリカの作製などを通して、恐竜研究の現場を写真で詳しく知ることができます。



0.1ミリのタイムマシン
地球の過去と未来が化石から見えてくる
須藤斎/著

くもん出版 2008年 1400円

植物プランクトンの一種、ケイソウのわずか0.1ミリの小さな化石。著者が研究してきた「おやすみケイソウ」が、地層の堆積年代をより簡単に、より正確に推定する“ものさし”として有効になってきました。69種類のケイソウの新種を見つけ、分類し、記載し、図鑑にする若い研究者の地道な努力が伝わってくる読物です。



チンパンジーはいつか人間になるの?
おどろき動物進化学
熊谷さとし/著

偕成社 2009年 1200円

本当にチンパンジーが進化して、いつかヒトになるのでしょうか。「進化論の夜明け」「空然変異」「ガラパゴスの動物たち」など、「進化」に関する身近な面白い話題を紹介する「読み解き本」です。



人類の長い旅 ビック・バンからあなたまで

キム・マーシャル/著
藤田千枝/訳
さ・え・ら書房 1983年 1330円
※現在品切れ

私たちは何者なのか？どこから来たのか？すべての生命のはじまりを、約150億年前の宇宙のビッグバンから説きおこして、今日の人類に至るまでの長い生命の歴史をたどります。宇宙の歴史を100mの長さに置き換えると、人間の歴史は0.3mmにしか相当しないのです。